

花と緑の銀行だより

202号 2017.1



タイトル：県指定天然記念物 「氷見市長坂の大いぬくす」
(第68回全国植樹祭 天皇陛下お手播き樹種 タブノキ)

目次	• 花と緑の提言	
	〈「第68回全国植樹祭の開催に向けて」(第68回全国植樹祭富山県実行委員会)〉	2
	• 活動事例 〈「射水支店の活動について」(射水支店)〉	3
	• 技術講座 〈花壇づくりの妙技3〉	4
	• 緑づくりコーナー 〈庭木に利用する樹種の特徴と管理-ハナズオウ-〉	5
	• 技術講座 〈ステップアップ研修に参加して〉	6
	• この人あり 〈「花のある地域づくりから心身の健康を」(小矢部支店)〉	7
	• 情報コーナー 〈平成28年度花とみどり・ふれあいフェア〉	7



第68回全国植樹祭の開催に向けて

第68回全国植樹祭富山県実行委員会
会長 石井隆一

明けましておめでとうございます。

輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

本年5月28日（日）、「かがやいて 水・空・緑のハーモニー」を大会テーマに「第68回全国植樹祭」を富山県魚津市で開催いたします。

「全国植樹祭」は豊かな国土を支える森林や緑に対する理解を深めるために行われる、国土緑化運動の中心的行事です。富山県では、昭和44年に砺波市頼成で第20回大会を開催して以来、48年ぶり2回目の開催となります。

式典は、雄大な立山連峰と美しい富山湾を眺望できる絶好のロケーションである「魚津桃山運動公園」で開催します。また、魚津桃山運動公園を含め7ヶ所の植樹会場を設け、参加者の皆さんに記念植樹を行っていただき、県下全域で大会を盛り上げることとしています。

大会では、平成19年度から導入した「水と緑の森づくり税」を活用して進めてきた里山林の整備など「県民参加による多様な森づくり」や、全国に先駆けて開発・普及に取り組んでいる優良無花粉スギ「立山 森の輝き」など、本州随一の植生自然度を誇る本県の豊かな自然と、それを守り育てる県民の活発な取組みを全国に紹介いたします。

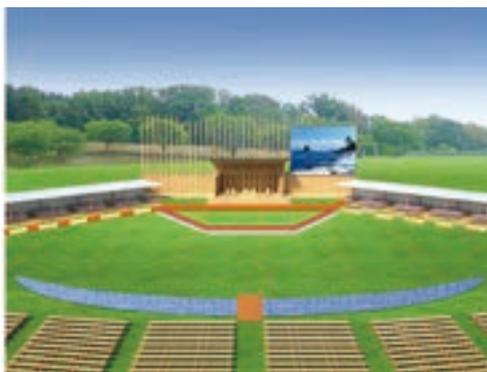
また、平成27年10月に開催した「全国豊かな海づくり大会」や、平成28年5月に開催された「G7富山環境大臣会合」では、本県が進める「森・川・海を一体とした環境保全の取組み」を国内外に発信しており、本大会を契機として、今後さらに森づくりと海づくりの連携を意識した取組みを発展させていくこととしています。

大会会場については、お野立所は県産のスギ丸太を使い、「富山らしさ」を表現するデザインとし、



周辺の景観と調和のとれたものとします。また、特別招待者席のテントの骨組みも県産材を使って設置するほか、おもてなし広場では、県産材をふんだんに使って製作した屋台、陳列台、テーブルを配置し、温かみのある雰囲気でお迎えいたします。

さらに、お野立所の周りには、県育成品種のチューリップを植え込んだプランターを設置するとともに、式典会場や植樹会場などには公益財団法人花と緑の銀行の頭取・グリーンキーパーの皆さんや県内農業関係高校7校の生徒の皆さんに育てていただいたインパチェンスやペコニアなどの7種類の花苗4000基のプランターを設置するなど、県民総参加による花のおもてなしで会場を華やかに彩ります。



式典演出では、「高低差4000m」のダイナミックで変化に富んだ地形がもたらす豊かな自然や文化を映像や創作舞踊などで表現するほか、大伴家持が詠んだ「越中万葉」の朗唱などにより森・川・海のつながりを表現するなど「富山らしい」大会となるよう企画しています。

大会開催まであと約5ヶ月となりましたが、公益財団法人花と緑の銀行をはじめ、県内の関係団体や市町村のご協力をいただきながら、多くの県民や来県者の心いつまでも記憶される素晴らしい大会となるようしっかりと準備を進めていく所存です。

結びに、皆様方の今後ますますのご健康、ご活躍、ご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。



射水支店の活動について

花と緑の銀行射水支店事務局長
射水市農林水産課 課長 竹内 美樹

射水市は、環日本海交流拠点である富山県のほぼ中央に位置しており、コンパクトな市域に、港湾、工業地、商業地、高等教育機関など、様々な機能を持つ魅力ある資源が集積し、さらに「海、川、野、そして里山」という豊かな自然を有しています。

その本市の特性を生かし「豊かな自然 あふれる笑顔 みんなで創る きららか射水（いみず）」をスローガンに合併以来、着実にまちづくりを進めて参りました。

また、最近ではドラマや映画のロケ地となるなど県内外にその名を轟かせています。

現在、射水支店の活動については、花と緑の銀行射水支店役員会を最高決議機関として設けて活動しています。

役員会とは、各地方銀行の頭取から旧市町村ごとに選任された10名で構成され、支店事務局（農林水産課）と必要事項を協働で決定する機関です。そこで決定した事項に沿って、今年度からは、27地方銀行、頭取・グリーンキーパー合わせて131名が旧市町村単位で構成される頭取・グリーンキーパー活動推進協議会に所属して各地域の実情にあった活動を行っています。

新湊、大門、大島、下の協議会については、主に各地方銀行ごとの地域花壇の整備や管理に力をいれて活動を行っています。

小杉の協議会では、県内でも有数の「歌の森運動公園西側広場花壇」を拠点花壇として活動され、定期的に各頭取・グリーンキーパーが花壇の整備や管理を行い、そこで身に着けた技術を各地方銀行の地域花壇に取り入れることで緑化推進に努められています。



写真1 「歌の森運動公園西側広場花壇」整備風景

また、各協議会ごとに勉強会や視察研修を行い技術の習得にも努められています。

射水支店の事業としては、平成26年度から27地方銀行の頭取が一堂に会した頭取会議を年に1回開催し、射水市花壇コンクール金賞花壇での実地研修や、課題等を検討する会議を行うことで各地方銀行ごとの連携強化や技術の共有化を図っております。



写真2 頭取会議風景

このように、当支店では、射水支店と各協議会が協働となって事業を展開することで事務局からの指示通りに活動するのではなく、各地域の自由な発想のもと、世代の枠を超えた自発的な緑化活動を推進してまいります。

今後は、さらに当市の緑化を進めるため射水支店として特色のある取組みについても検討してまいりたいと考えております。

おわりに、花づくりは世代間の交流や住民同士の連携、情操教育の推進といった花の社会性に大きな効果があると言われております。

本市支店におきましては、この花の社会性をまちづくりに生かす活動について、支店会員の皆様や市民のご意見に耳を傾けながら、今後も市民一体となって進めてまいりたいと考えておりますので、より、一層のご協力をお願い申し上げます。

デザインと花選びが花壇の出来映えを決める

花と緑の銀行 普及研修部

今年の花壇づくりについて、テーマを決め、デザインを工夫し、どんな花で表現するかを考えれば、その年の花壇の出来映えは決まったようなものです。たとえ、限られた面積でも、見に来る人をあっと言わせる、面白いデザインの花づくりを考えるだけで、わくわくしてきます。春はすぐにやってきます。今のうちに、しっかりと作戦を練っておいて下さい。

県の花のまちづくりコンクールで見つけた、すてきなデザインや工夫を紹介します。

1. 花のストライプ

幅数十cmの細長い花壇。でも、斜めのストライプにするととってもおしゃれになります。同じ高さに揃えた、ジニア・プロフェュジョン、ニチニチソウ、ペゴニア、イソトマがみごとなストライプに仕上がっています。同じ花でも色合いを少しかえて、複雑な変化を持たせてあります。パステルカラーで統一されていることも、爽やかさを醸し出しています。さらに、花壇の両脇をタマスダレの緑で縁取りされていて、秋には白い花が花のストライプを囲むことでしょうか。限られた空間も工夫次第で大きくランクアップさせることができます(写真1)。



写真1 花のストライプで大きくランクアップ！
(小矢部市 H27メルヘン花工房)

2. プランターを組み合わせた超絶デザイン！

大沢野小学校では道路側にある時計台下花壇とたくさんのプランターを巧みに並べて、校章にちなんだ「白ぼとマーク」や「2015」が前庭いっぱいに展開されています(写真2)。



写真2 時計台下花壇とプランターを組み合わせた前庭いっぱいの花壇
(富山市 H27大沢野小学校)

地上にいる時はデザインの全容が見えませんが校舎の上の廊下から見おろすと、その全貌が明らかになります。プランターの配置がバグゲンで、「はと」のマークや「小」の文字、「2015」がくっきりと浮き出しています。また、周りに置かれたプランターも高さを変えて立体的に配置され、花々の周りをゆっくりと見て回るのも楽しそうです(写真3)。

毎日花の間を抜けて学校に通い、時には、校舎の上から花壇全体の花を眺める。いつでも花と触れ合える、心躍る学校生活が見えてくるような気がします。



写真3 プランターを組み合わせた「はと」、「小」、「2015」
(富山市 H27大沢野小学校)

3. ダイナミックな北陸新幹線W7系！

県民が待ちに待った北陸新幹線が平成27年3月に開業し花壇や花の道にもたくさん新幹線が走っていました。その中で、最もダイナミックだったのは野ぎくの会のW7系です。先頭部分の青はアゲラタム、屋根の青はサルビア・ファリナセアを組み合わせて、奥へ行くほど高くなるように立体感を持たせてあります。赤銅色のラインはマリーゴールドのオレンジでくっきりと表現され、側面の白色はシロタエギクで爽やかに飾られています。

新幹線の周りは虹のデザインで彩られ、まるで虹を越えてW7系が走り出すような迫力があります。まさに、夢を乗せて、これからの素晴らしい未来を予感させる花の道です(写真4)。



写真4 今にも走り出しそうな北陸新幹線W7系
(小矢部市 H27野ぎくの会)

庭木に利用する樹種の特徴と管理ーハナズオウー

日本樹木医学会富山県支部

樹木医 西村正史

春に小さな紫ないしはピンク色の花を枝一杯につける花木をよく見かけます。これは、ハナズオウという花木です。花の頃には、まだ若葉が出ていないので、一見して作りものではないかと疑いたくなる花木です。

1. 特徴

ハナズオウは、マメ科ハナズオウ属の落葉低木で、中国原産です。江戸時代初期の頃に日本に渡来したそうです。本州、四国、九州に植栽されていますが、耐寒性が強いので、北海道でも植栽されています。花は春に咲きますが、富山県中央植物園の観察では、4月下旬から5月上旬にかけて咲きます（図-1、2）。花の色は紫ないしはピンク色ですが、白い花を咲かせるシロバナハナズオウという品種もあります。また、同属で別種のアメ리카ハナズオウもあります。ハナズオウに比べて耐寒性は強いのですが、耐暑性がやや劣るようです。

高さは3～5mぐらになり、根元から分岐した幹が上に伸び、箒状になる性質があります（図-3）。

花芽は7月頃に形成されます。若い木では花芽は短い枝につきますが、成熟した木では長い枝にもつくようになります。

マメ科植物ですので、根には根粒菌というバクテリアが住みついております。この菌は空気中の窒素を取り込んでそれを植物に供給します。そのため、ハナズオウは窒素肥料を与えなくても生育できるという特徴があり、あまり土地を選びません。しか

し、できるだけ排水のよい場所に植栽してください。また、日陰に植栽すると花つきが悪くなりますので、日当たりのよい場所に植栽してください。

2. 管理

根元から株立ちした幹が多ければ混みすぎの影響がでますので、早めに残す幹を見極め、残りの幹は根元から剪定してください。

枝の剪定は冬期間に行いますが、花芽はすでに出てきていますので、混みすぎた枝や樹形をみだす枝を剪定するようにしてください。

なお、写真はすべて富山県中央植物園で撮影したものです。2012年までは、富山県中央植物園の「染めの植物」コーナーに植栽されていましたが、2013年に「雲南の植物」コーナーに移植され、現在に至っております。



図-2 拡大したハナズオウの花。2011年4月26日撮影。



図-1 ハナズオウの花。2011年4月26日撮影。



図-3 株立ちで箒状のハナズオウ。2011年4月26日撮影。



ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行 黒部支店 下立地方銀行

グリーンキーパー **此川 美喜子**

グリーンキーパーとして、地区ミニ公園の花壇づくりをお手伝いするようになって8年になります。土いじり、草花を育てるのが好きというだけで、グリーンキーパーになりました。ステップアップ研修は、以前から受講したいと希望していてようやく実現しました。

当初は黒部から植物園まで車で1時間15分もかかり、20回の研修が全うできるか、少し心配でしたが、心配どころか、次の受講日が待ちどおしいくらいで、毎回わくわく、楽しく、受講させていただきました。

花壇の土づくり、デザイン、草花の管理など、また、有害な植物や生態系を壊す植物、栽培禁止の植物があることも知りました。



写真1 花壇デザインの研修

花壇のデザインを考えるのが難しく、初めての経験でした。私達のグループでは、リーダーのデザインで花壇づくりをすることになり、「涼扇」という題で扇子の形をイメージし、しかも、涼しい感じをだす色合いの花を選びました。



写真2 第1班「涼扇」花壇と班の仲間

植え付けに始まり、花を長く楽しむための花がら摘みや、切り戻しの仕方、追肥の仕方などを花壇実習で学びました。



写真3 花壇実習の風景

回を重ねるごとに、他のグループの方たちともいろいろな話ができ、日帰り研修で長野の「ラ・カスタ ナチュラルヒーリングガーデン」を見学し、さらに親睦が深まったように思います。

ふかふかした土、花の組み合わせ、配置、花の咲き具合など、それは洋風の建物に合う、とても素晴らしい庭園でした。



写真4
ラ・カスタ ナチュラルヒーリング
ガーデン研修（9月30日）

土づくり、手入れの大切さを改めて感じ、これからの花壇づくりで実践したいと思います。思いがけない害虫に悩まされたりして、うまくいかない時期もありましたが、今回の研修で、確実にステップアップできたと自負しています。研修で学んだことを地域に持ち帰り、みなさんと一緒に活かしていけたらと思います。

講師の先生方、職員の皆様、大変お世話になり有り難うございました。心よりお礼申し上げます。

平成29年度ステップアップ研修の受講を希望される方は、各支店（市町村担当課）までお問い合わせ下さい。受講者の募集は3月上旬を予定しています。 ※研修内容は「花壇管理の基礎」を中心に実施します。



花のある地域づくりから心身の健康を

花と緑の銀行 小矢部支店 宮島地方銀行

頭取 赤坂久正

今年8月19日に行われました新任頭取・グリーンキーパー研修に参加し、県内花壇の取り組みを学び、花を通じて地域づくり人づくりに努力されている皆様の姿に感銘しました。

地域づくりとして、集会場やバスの停留所等の人の集まる場所に花があり、心和む環境づくりを目指し、そして人づくりとして、3世代交流や人と人とのコミュニケーションを大切に、花を通して笑顔と楽しさと潤いのある花壇づくりに取り組まれ、すばらしい活動であると受け止め、自らも実践し地域に活かしていきたいと思いました。

宮島地域においても公民館にて、自治会長中心に宮島女性連絡会の皆様と協力して花苗の配布、花壇の整備、苗の植え付けをし、花の管理を行っております。宮島地域10箇所植えられた花を通じて季節を感じ、花の美しさに触れることで、住民や宮島峡を訪れる人々の心を和ませています。このことは花壇のお世話をして頂いている地域の皆様の日々の取り組みがあってこそだと感謝致しております。

花づくりの魅力は育てる喜び・眺める喜び・見て

もらう喜びがあり、それが癒やし、健康、活力につながることを学びました。



写真1 宮島女性連絡会の活動 写真2 宮島峡の花飾り

育てた一輪の花の美しさや生命力を実感しつつも花のある生活を心がけています。花を眺めいつも思う歌として「美はしき 花に憧る人こそは 花にも似たる心持つ なり」があります。このような花の心を持った人の輪が広がることを願って今後も研修の参加やグリーンキーパーの方々を教えて頂き知識を深めつつ、皆様の協力の下活動していき、地域住民の緑化意識の向上、そして花と緑の活動の発掘・育成に取り組んで行きたいと思っております。

〈情報コーナー〉

「花とみどり・ふれあいフェア」を開催します！

2月25日～26日にファボーレにおいて、「花、そして緑のハーモニー」をキャッチフレーズに、平成28年度「花とみどり・ふれあいフェア」を開催します。

主な内容は

- ・春を彩る花々「チューリップ、スイセン、椿」の展示
- ・花とみどりの体験コーナー
(県産花きを活用したツーショット・スポットや花束づくり、生け花、寄せ植えなどの体験教室)
- ・コンテナガーデンコンテスト (花と緑の指導者の作品) ; 2月18日(土)～26日(日)展示
- ・「わたしの寄せ植え」展 (花と緑で素敵な空間を創造) ; 2月23日(木)～26日(日)展示
- ・花と緑のコンクール入賞作品展示 (ポスター原画、標語入賞作品、花壇写真など) ; 2月18日(土)～26日(日)展示
- ・花の種・苗の無料貸し出し (県内各地から提供された種・苗の提供)

など、盛りだくさんの企画を準備しています。多数のご来場をお待ちしています。



平成27年度 コンテナガーデンコンテスト



平成27年度 花束づくり教室風景



平成27年度 花の種・苗の無料貸し出し風景



表紙写真：県指定天然記念物「氷見市長坂の大いぬくす」(第68回全国植樹祭 天皇陛下お手播き樹種 タブノキ)
裏表紙写真：「錦をまとうゴヨウマツ」 10月上旬 立山町大日岳にて……写真提供 長谷川 幹夫氏



「錦をまとうゴヨウマツ」 10月上旬 立山町大日岳にて



花と緑の銀行だより 202号

発行日 平成29年1月

編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山県富山市婦中町上巒田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上巒田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyonomori/>